

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都千代田区岩本町 2-10-12
園名	岩本町ちとせ保育園 1歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

生活の中の音に気付こう！

<テーマの設定理由>

散歩や日常生活の中でまずは救急車や消防車などの関心のある音に気が付き始めた。そこで生活の中でどんな音があるのか、保育士も意識しながら過ごす事に。次第に子ども達も何の音かな？と疑問を投げかけてくれたり、生活音と共に楽器遊びなども通しながら身近に様々な音があることに関心を広げた。

2. 活動スケジュール

6月～8月頃 雨のぼたぼたという音を園内のポーチで見つける

水の音を保育者と聞いてみる

9月 窓を開けていると、17時になると決まった音楽が流れている事に気付く

10月 楽器遊びを始める

ベルハーモニーに触れる

1月 鈴、タンバリン、マラカス、ハンドベルなどの楽器を音楽に合わせて自由に鳴らしてみる

次第に見立て遊びにも繋がるように。廃材を選び、太鼓に見立てて遊ぶ子も。

通年 リズム遊びを通して音楽(音)を聞き、どのような動きなのか身体で表現する楽しさを感じる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・散歩や室内の窓を開け、音が聞こえやすい環境設定をする。
- ・傘、バケツ、廃材、水
- ・ピアノ
- ・手作り玩具
- ・鈴、カスタ、タンバリン、マラカス、ハンドベル、ベルハーモニー、太鼓
ミュージックパット等

4. 探究活動の実践

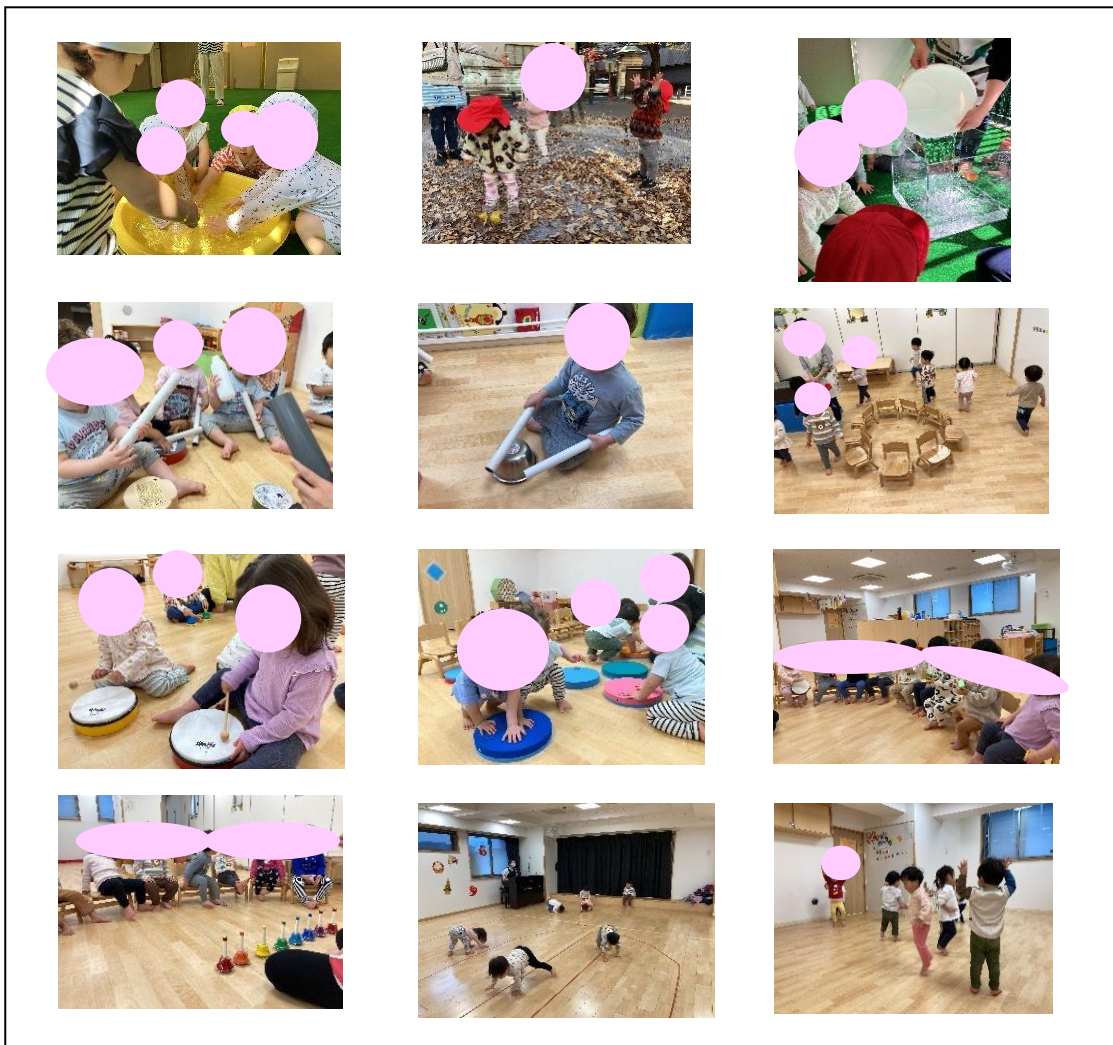
環境音に気付けるよう、保育士から仕掛けていききっかけを作る
子ども達が気づいたときは、気づきが広がるように共感し展開する
楽器、廃材

<活動の内容>

- ・自由遊び…季節を感じる事が出来るよう、サンルーム（半屋外）で季節ごとに過ごしてみる
- ・散歩……生活音に気づく、「ブーブー」や「ピーポー」など気づいた音を言葉にする
- ・絵本……オノマトペや効果音が強調されているものを読み、音に触れる
- ・楽器遊び…自由に鳴らしてどのような音が鳴るのかを知る。
好きな歌に合わせて楽器を鳴らしてみる
踏むと音が出ることを発見する
- ・リズム遊び……保育者士のピアノにに合わせて身体を動かして表現する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・梅雨時期は雨粒の音に子ども達が気づき、落ちてくる場所にバケツなどを置いてさらに音を感じられるようにした。静かに耳を傾ける姿があった。
- ・窓を開けていると車の音や17時のチャイムに気づき、窓に張り付いて外を眺めていた
- ・楽器を鳴らしそれぞれに音があることに気付く。お気に入りの楽器を選んだり、様々な楽器に触れ、叩くと鳴る、振ると鳴ることを発見する。
さらに様々な音に慣れてくると見立て遊びに広がっていった(廃材遊び)
- ・「りんりん」「ピーポー」「ぽたぽた」「ぶーぶー」など音を言葉にして楽しむ。
- ・リズムではピアノの音を聞き、動物になりきって身体を動かして楽しむ。」



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・乳児クラスの音、がテーマとして難しいかと思っていたが、こちらが思っている以上に生活音によく気づいており、また言語の発達の中でオノマトペを中心に自分で声に出して、音を楽しむ姿も印象的であった。

・生活音の他に、楽器遊びを通して様々な音に触れてきた。小さいながらもお気に入りの音が出来、関心を寄せる姿もあった。楽器に親しみ始めると、しばらくして廃材を楽器に見立てて遊ぶようになった。想像、工夫し見立てることが学期の後半に出来るようになった。

・リズム遊びではピアノの音に合わせて身体で表現する楽しさを感じていた。回を重ねるごとに、音を聞きどのような動きなのかも判断できるようになっていた。